

63 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の推進

【令和7年度予算概算決定額 2,605（2,423）百万円の内数】
（令和6年度補正予算額 3,828百万円の内数）

＜対策のポイント＞

効果的な病虫害防除による生産力の向上と環境負荷の低減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、化学農薬のみに依存しない「予防・予察」に重点を置いた総合防除を推進していくための取組を支援します。

＜事業目標＞

- 「予防・予察」に重点を置いた総合防除体系の確立による、生産力向上と農業生産の持続性の確保の両立
- 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減【令和32年まで】

＜事業の内容＞

1. 食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

96（52）百万円の内数

- ① 精緻かつ迅速な発生予察の実現に向け、**新たな発生予察の調査手法を確立**します。
- ② 農業者による適切な総合防除の実践を図るため、**総合防除に必要な手順、技術等を網羅した総合防除実践マニュアルを整備**します。

2. 総合防除の普及

1,896（1,720）百万円の内数

総合防除の普及のため、**地域の実情に応じた総合防除体系の確立に向けた防除体系の実証を支援**します。また、**指導者の育成に必要な研修、講習等への参加・開催を支援**します。

3. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな栽培体系加速化事業

612（650）百万円の内数

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、**化学農薬低減等の「環境にやさしい栽培技術」と慣行の栽培に比べ「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換に向けた取組を支援**します。

＜事業イメージ＞

食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

遺伝子検定手法等の新たな発生予察の調査方法の確立

ほ場での病虫害発生状況の把握
・判断要素を含む様々な防除技術

総合防除実践マニュアルの整備

総合防除

土壌還元消毒 天敵活用

総合防除の普及

地域の実情の例（スクミリンゴガイ）

浅水管理

トラップの設置

・麦作や地下水位の高さのため、冬期の耕うんが困難 等

地域の実情に応じた総合防除体系の確立に向けた実証

指導者の育成に必要な研修、講習等への参加・開催を支援

IPM実践

グリーンな栽培体系加速化事業

（例）土壌くん蒸剤の代替技術の導入

技術の検証

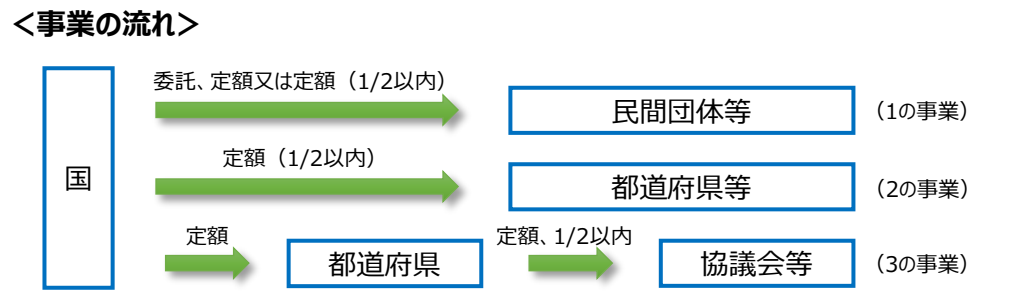
連作により土壌くん蒸剤だけでは防除できない土壌病虫害の常発

代替技術の導入

- ・緑肥の導入
- ・輪作・休耕の実施
- ・土壌還元消毒の利用
- ・マニュアルスプレッターによる省力散布 等

栽培マニュアル、産地戦略の策定

土壌くん蒸剤の低減



（1と2の事業）消費・安全局植物防疫課（03-3502-3382）
（3の事業）農産局技術普及課みどりユニット（03-3501-3769）